

プロジェクト代表者	鈴木陽一（微生物学・講師）
共同研究課題名	蚊媒介性ウイルスの複製を抑制する細胞性因子の同定と機能解析
目的	蚊が媒介するヒト病原性ウイルスにはデングウイルスやチクングニアウイルスといった公衆衛生学上問題となる RNA ウイルスが多く含まれる。しかし、それらの蚊媒介性ウイルスに対しては未だ有効な薬剤が存在せず、重要な感染症として早急な対策が求められている。本研究では、蚊媒介性ウイルスの複製を制御する細胞性因子を同定し、その機能を解析することで、新たな抗ウイルス薬の創生に寄与することを目的とする。
内容	申請者がこれまでにインターフェロン関連 cDNA ライブラリーを用いて、抗デングウイルス因子の候補として同定された 2 種類の細胞性因子 IFI27 と DNAJC14 について、そのウイルス阻害活性の検討と抑制メカニズムの解析を行う。鈴木、坂口、そして江見（大阪医科大）は、培養細胞に遺伝子を導入することで、ウイルス感染細胞における各因子の役割を調べる。また、高橋（愛媛大）は、それぞれの因子とウイルス側分子の結合状態を生化学的な手法を用いて明らかにする。
学内共同研究者	坂口 翔一（微生物学・助教）
	江見 晶野（微生物学・研究補助員）
学外共同研究者	高橋 宏隆（愛媛大学・講師）
研究費	500,000 円